

## 平成24年（2012年）の安達太良山の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台  
火山監視・情報センター

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しました。

### ○ 2012 年の活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1～5①）

若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、噴気の高さが 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

1 月 18 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した上空からの観測と、7 月 19 日に実施した沼ノ平火口を中心とした現地調査では、沼ノ平内南西変質地（Y-3）付近では、高温域<sup>1)</sup>が引き続き認められましたが、沼ノ平火口中央（Y-1）付近では噴気及び高温域<sup>1)</sup>は確認できず、沼ノ平火口の状況に特段の変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

#### ・地震や微動の発生状況（図 5②～④、図 6）

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、12 月 17 日 10 時 31 分に沼ノ平火口の南約 5 km、深さ約 8 km を震源とする、マグニチュード<sup>2)</sup> 3.7 の地震が発生し、郡山市や二本松市等で最大震度 2 を観測しました。この地震の余震が 17 日に 15 回、19 日と 23 日に各 1 回発生しましたが、震度 1 以上を観測した地震はなく、その後は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

- 2) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中の値は暫定値で、後日変更することがあります。

#### ・地殻変動の状況（図 7）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

---

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 23 情複、第 492 号）。



図1 安達太良山 沼ノ平火口からの噴気の映像（10月11日07時45分頃）  
 ・若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラの映像です。  
 ・赤丸実線で囲んだのが、沼ノ平南西変質地からの白色噴気で高さ50mです。

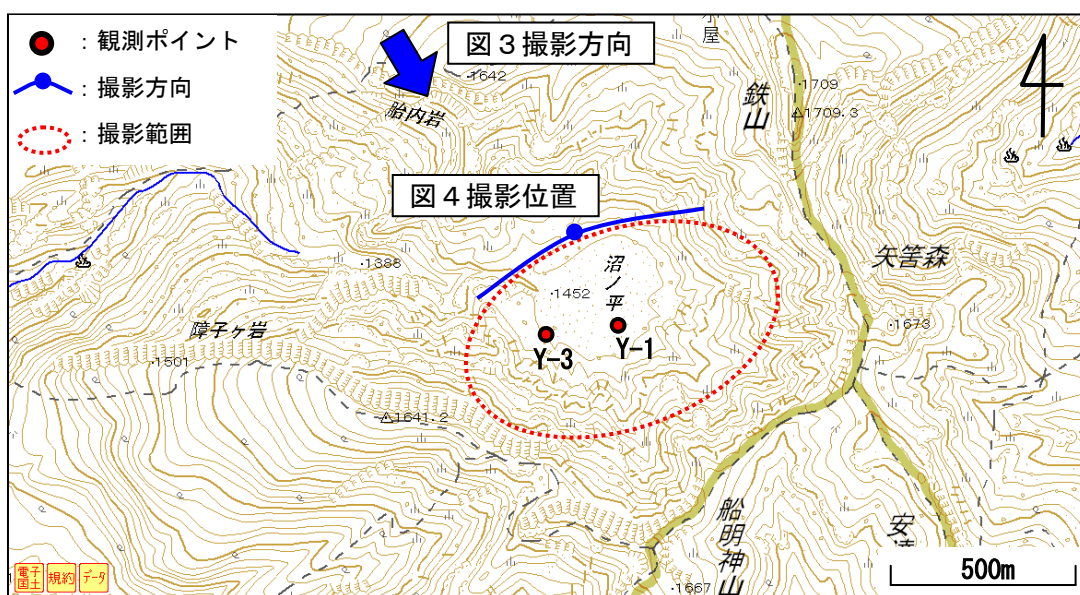


図2 安達太良山 観測ポイント及び図3～4の撮影位置と方向

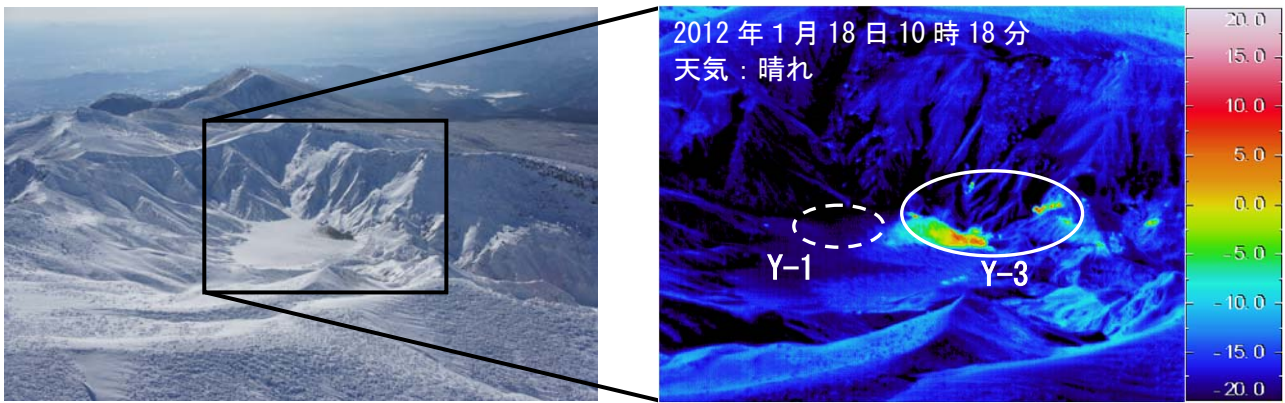
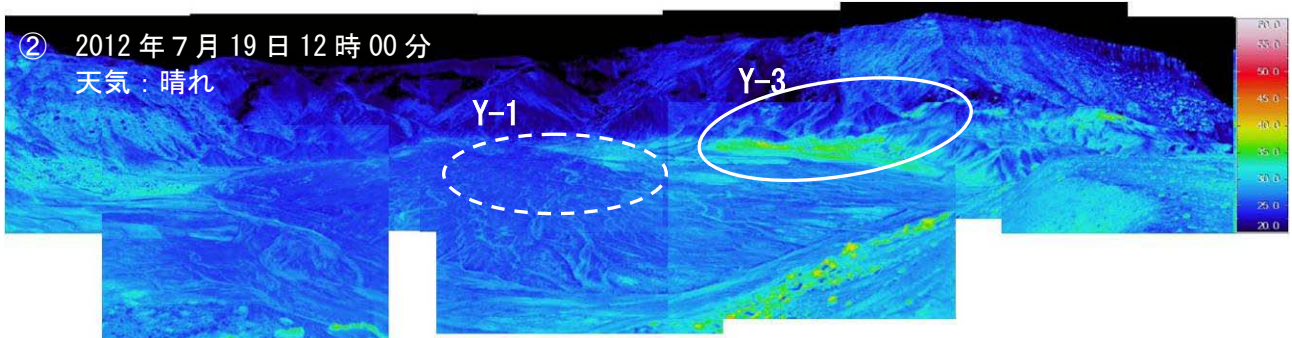


図3 安達太良山 沼ノ平火口の可視画像（左）と地表面温度分布<sup>1)</sup>（右）2012年1月18日撮影

① 2012年7月19日12時00分



② 2012年7月19日12時00分  
天気：晴れ



③ 2011年10月20日14時30分  
天気：晴れ

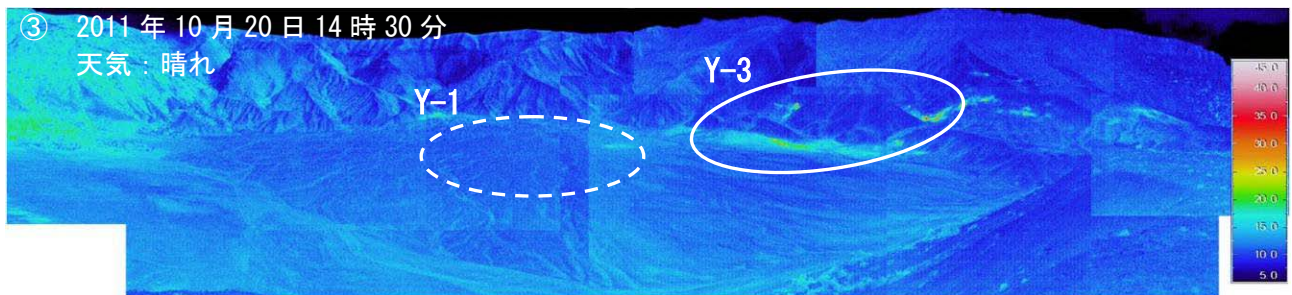


図4 安達太良山 沼ノ平火口の可視画像（①）と地表面温度分布<sup>1)</sup>（②、③）

・①、②は2012年7月19日、③は2011年10月20日の撮影です。

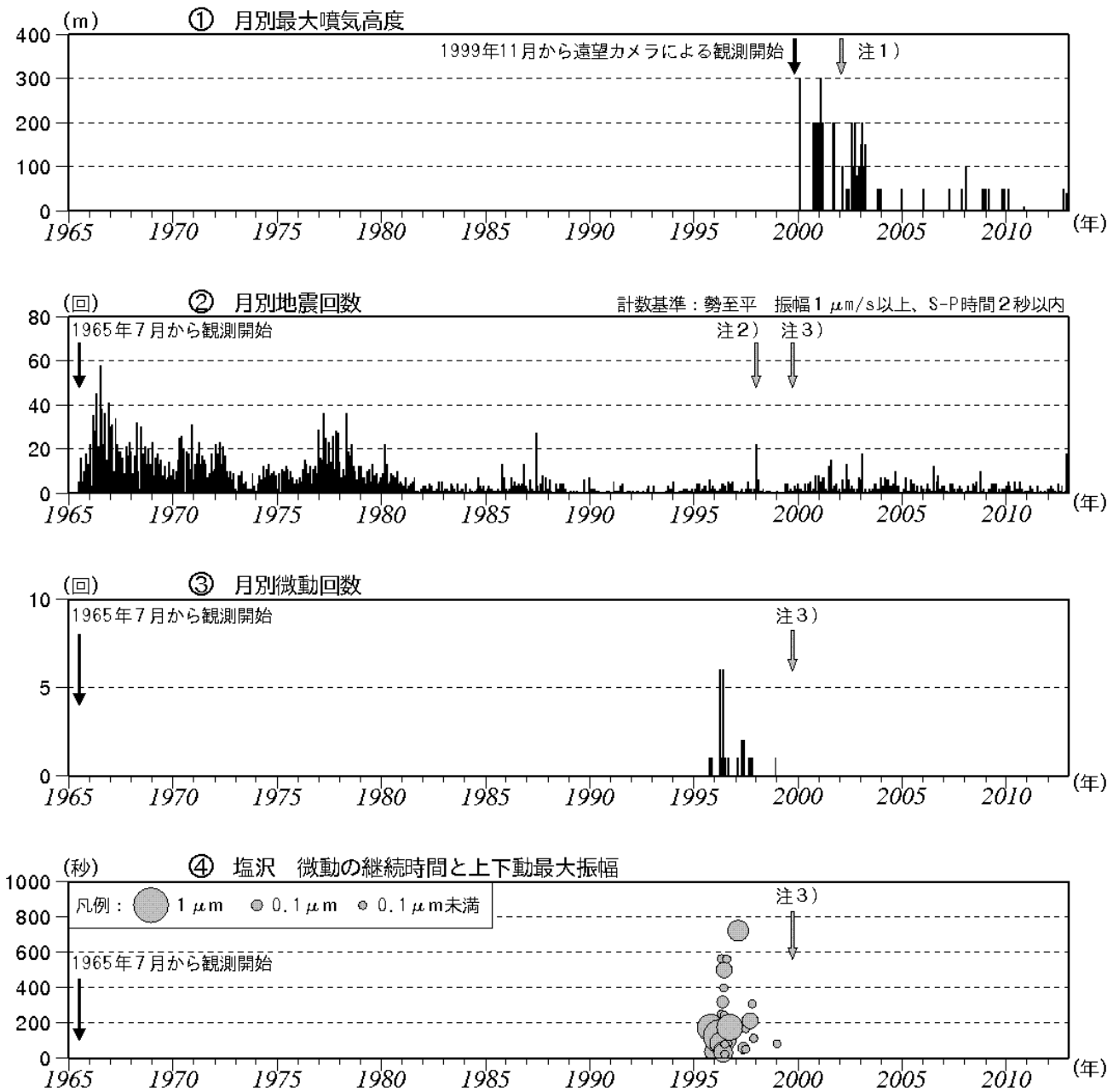


図5 安達太良山 火山活動経過図 (1965年7月～2012年12月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点(沼ノ平火口から東北東約6km)から勢至平観測点(沼ノ平火口から東北東約3km)に変更しました。

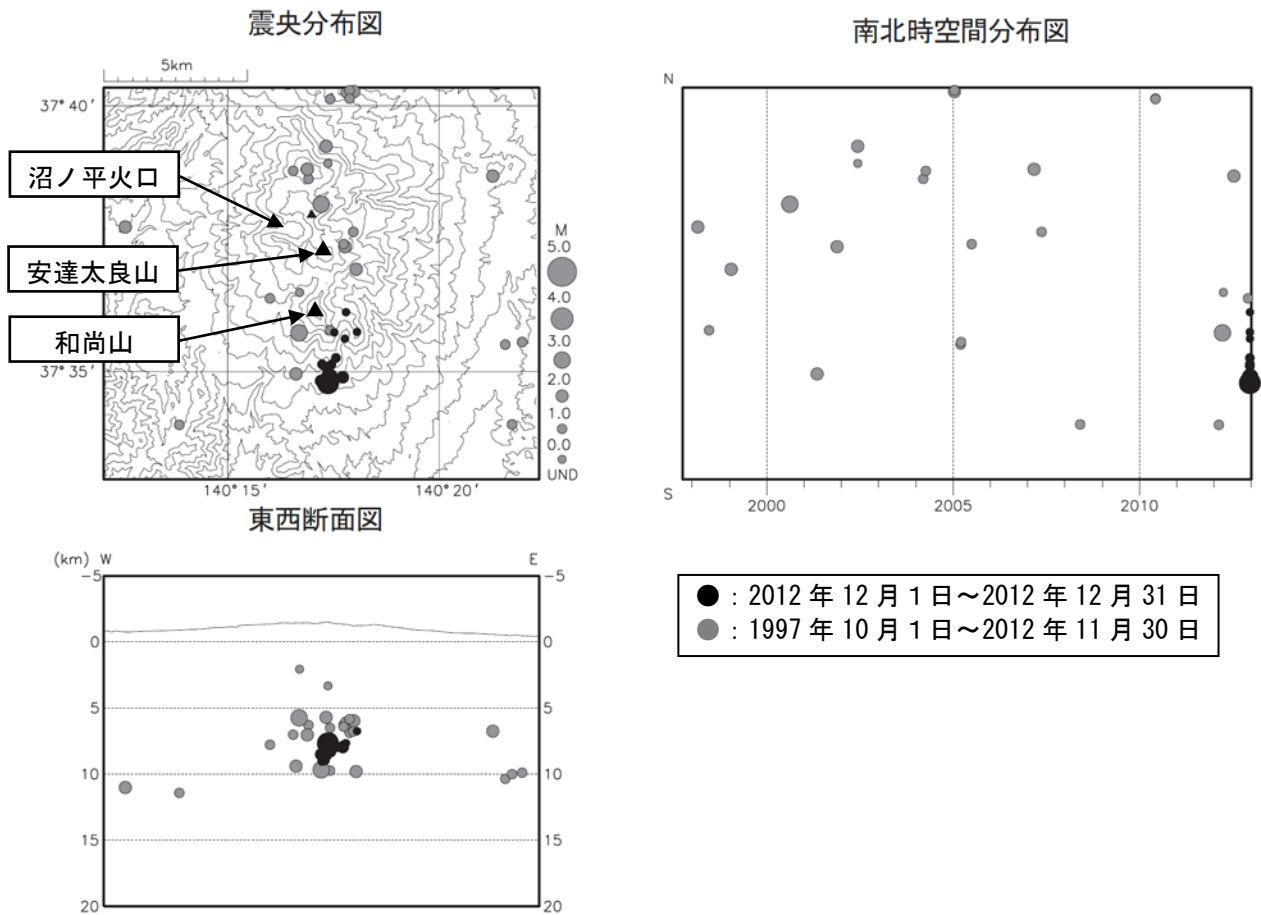


図 6\* 安達太良山 広域地震観測網による安達太良山周辺の地震活動  
(1997 年 10 月～2012 年 12 月)

- ・ 2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。
- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。
- ・ 2011 年 3 月 11 日以降、東北地方太平洋沖地震の活発な余震活動により、規模の小さな地震については未処理のものがあります。

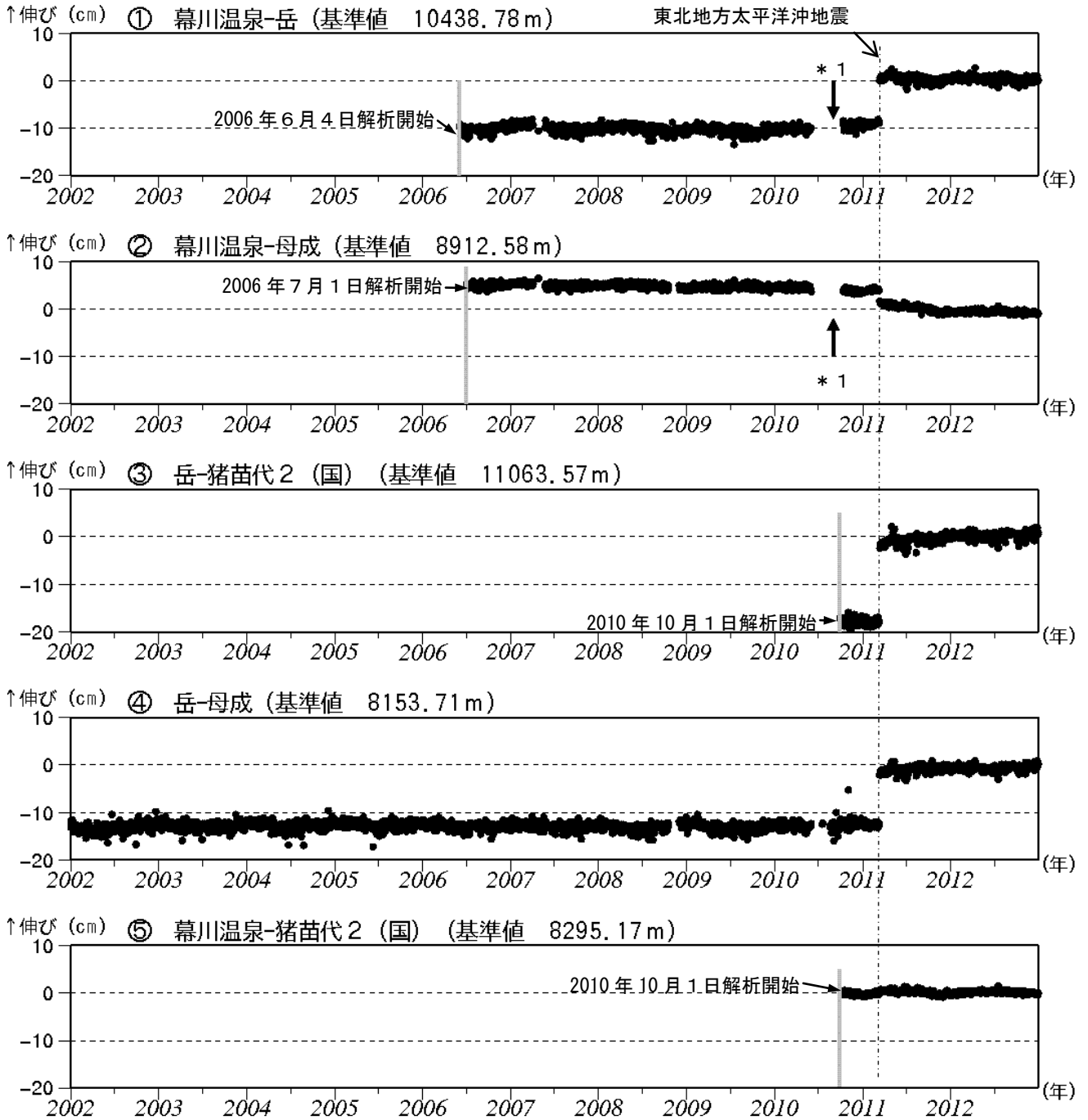


図7\* 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002年1月～2012年12月)

- ・ 2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ ①～⑤は図9のGPS基線①～⑤に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- \* 1 : 幕川温泉観測点の機器を更新しました。



図 8 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、  
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機  
関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

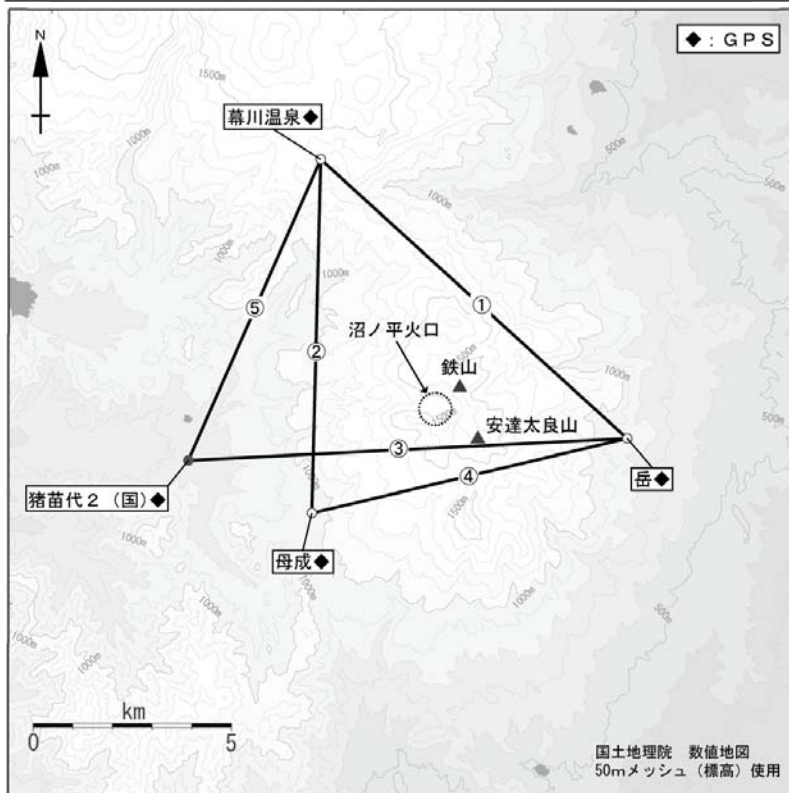


図 9 安達太良山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、  
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機  
関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

表 1 安達太良山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320		1999. 10. 22	短周期 3成分
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2010. 9. 1	短周期 3成分 ポアホール型
空振計	勢至平	37° 38.1'	140° 18.2'	1320		1999. 10. 22	
	沼尻山甲	37° 37.3'	140° 13.7'	890	3	2010. 9. 1	
傾斜計	沼尻山甲	37° 37.3'	140° 13.7'	890	-99	2011. 4. 1	
GPS	母成	37° 36.2'	140° 14.5'	967	6	2001. 11. 1	2周波
	岳	37° 37.3'	140° 19.9'	902	8	2001. 11. 1	2010年6月3日: 2周波に更新
遠望カメラ	若宮	37° 39.3'	140° 11.6'	820		1999. 11. 1	